



第6回

# 印旛沼・流域再生大賞

印旛沼とその流域において、「恵みの沼をふたたび」取り戻す活動に努力している個人や団体を表彰します。



募集中!



対象となる活動

- 水環境の保全・再生
- 流域の自然環境の保全・再生
- 水資源の保全・活用
- 水防災
- 水文化 など

応募期間

2017年4月24日(月) - 7月7日(金) 必着

応募資格

学校、企業、団体、行政、個人等の全ての活動主体が対象です。  
自薦、他薦は問いません。

応募方法

応募用紙に必要事項を記載し、事務局にご提出ください。  
※応募用紙は、下記のウェブサイトからダウンロードするか、事務局までお問合せください。

主催

印旛沼流域水循環健全化会議

お問合せ

印旛沼流域水循環健全化会議事務局  
千葉県 県土整備部 河川環境課  
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1  
TEL: 043-223-3155 / FAX: 043-221-1950  
E-mail: kawakan2@mz.pref.chiba.lg.jp

いんばぬま情報広場 で検索!

<http://inba-numa.com/>



特定非営利活動法人 せっけんの街

- 活動名称**
- ①廃食油からリサイクルせっけん及びBDF燃料の製造とその普及活動、雨水タンクの普及活動
  - ②環境学習(水の循環、せっけんと合成洗剤のちがいとその見分け方、きょうから私にもできること、せっけんの使い方講座)講師の派遣
  - ③環境にやさしい消費材の普及



**受賞理由**

このグループは、31年前、手賀沼の汚濁に対して「沼を汚しているのは私たちだ」という自覚のもと、柏市に「手賀沼せっけん工場」を建設しました。その10年後に印旛沼にも取り組みを広げて、酒々井町に「印旛沼せっけんセンター」を設置して、廃食油からリサイクルせっけんを作る地道な活動を継続して大きな成果を上げていることに、敬意を表し、高く評価します。この取り組みは、環境改善に対する市民の自意識の啓発を基礎としながら市民出資によって成り立っていることが素晴らしい点です。

また、最近、節水や市街地からの汚濁物流出抑制そして洪水流出抑制にも資する雨水タンクの普及活動という新たな取り組みを始めている点についても、称賛されます。

以上、その素晴らしい活動実績を称え、第5回の印旛沼・流域再生大賞の受賞者として選定しました。今後も活動をさらに継続・発展させ、印旛沼・流域の再生に御尽力いただけることを期待しています。

**活動場所** 手賀沼・印旛沼周辺

**ホームページ** <http://www.sekkennomachi.org/>

かんざきかわ 神崎川を守るしろい八幡溜の会

- 活動名称**
- 「神崎川上流メダカ救出作戦」
  - 「神崎川ゴミ拾いウォーキング」
  - 「江戸時代中野牧遺構野馬除土手保全活動」
  - 「八幡溜の昔の遊びを聞く活動」



神崎川メダカのメダジイとメダミ

**受賞理由**

白井市の真ん中を流れる神崎川上流の生き物や江戸時代の中野牧遺構である野馬除土手の景観を保全する目的で2012年に5名の会員で発足したこの会は、河川改修工事からのメダカ救出作戦を地元小学校と連携して行ったことを手始めとして、生物調査、川でのゴミ拾いや市民公募のクリーン作戦、親子観察会や手作り紙芝居上演会などへと取り組みを拡大して、現在では会員23名を数え、地域文化の発掘・保全と親しみの持てる水辺づくりに大きな成果を上げつつあります。

特に、東邦大学理学部や千葉大学園芸学部の地元大学と連携した八幡溜学生研究発表会や川沿いの湿地再生実験は、活動に広がり厚みを持たせる点で素晴らしい取り組みと、高く評価されます。

以上、その素晴らしい取り組みを称え、第5回の印旛沼・流域再生大賞の受賞者として選定しました。今後も活動をさらに継続・発展させ、印旛沼・流域の再生に御尽力いただけることを期待しています。

**活動場所** 神崎川上流けやき台緑地

過去の受賞者

受賞回	活動主体の名称	活動名称
第4回 (2015年)	特定非営利活動法人 NPO富里のホタル	高崎川源流域に位置するハイケボタル自然発生地「天神谷津」での環境保全活動
	特定非営利活動法人 水環境研究所	印旛沼流域を主に湧水調査と保全・啓発等の活動
	里山の会 ECOMO	里山保全と里山における自然観察等の活動
	功労者賞◇金山 英二 氏	印旛沼関連活動、対外関連活動
	特別賞◇印西市環境経済部 環境保全課	合併処理浄化槽の維持管理の個別指導と印旛沼水質改善についての啓発
第3回 (2014年)	特定非営利活動法人 八千代オイコス	よみがえれ花輪川
	印旛沼土地改良区佐倉西部支区	外来植物(ナガエツルノゲイトウ・ホテイアオイ)を地域力としたソーシャルキャピタル(農村協働)
		手操川沿川生谷地区で取り組む環境美化活動(生谷コスモスまつり)
第2回 (2013年)	NPO法人 印旛野菜いかだの会	生物浄化システムと体験環境学習
	佐倉印旛沼ネットワークの会	印旛沼の再生をめざす
	特定非営利活動法人 四街道メダカの会	市民とともに水辺の環境に親しみ保全する会
第1回 (2012年)	白鳥 孝治 氏	長年にわたる研究と啓発活動
	千葉英和高等学校生物研究部	25年にわたる調査・研究活動



詳しくは「いんばぬま情報広場」  
<http://inba-numa.com/>

印旛沼  検索

